



2021年から2022年へのスタートとなりました。新年が明けて、外の冷えた空気がいつもよりキリッと鋭くなったようで、身も心も引き締めてくれるような気がします。子どもたちが伸び伸びと成長できるよう見守っていきたいと思います。本年もよろしくお願ひ致します。

また、新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症に警戒をしなければいけません。子どもたちの健康管理、安全対策に取り組んでいきたいと思います。

～「園庭に出て遊びたい子」「室内で遊びたい子」～

園庭に出ると、冷たい風、あたり一面霜がかかり、すっかり冬模様になっています。もも組では、園庭に出て遊びたい子、室内で遊びたい子に分かれて、一人ひとりが伸び伸びとした遊びを楽しんでいます。園庭では、「鬼ごっこしよ!」「よーいドン!」と体を温めるために追いかっこをしたり、「氷が出来てるよ!」「冷たいね!」と冬の自然に触れながら身体いっぱい動かして遊びを楽しんでいます。また、室内では粘土遊びやパズルをしたり、ままごとをしたりとゆったりとした時間を過ごしています。「園庭に出て遊ぶ」「寒いからお部屋で遊ぶ」と今何をして遊びたいかを聴き、気持ちを尊重し、子どもたちが主体的に遊べるよう見守っています。



→「見守る」って・・・

「見守る」という言葉には、単に見ているだけという意味合いが強く放任的なイメージを抱いてしまいがちです。そこで私達は、「見る＝一人ひとりを理解する」と「守る＝適切な援助をする」という定義とし、「やってあげる保育」ではなく、子どものやりたいことを引き出し保障する為の保育として捉え実践しています。

* 『「見守る保育」藤森メソッドより』

～子どもの「できた!」を応援!～

あっという間に一月になり、三月には以上児さんのお部屋に移行する期間となります。

普段の子どもたちの姿に、一人で靴を脱いだり、履いたり、シャツやトレーナーなど着られるようになったりと自分で出来る事が増えてきました。これらのことは、大人から見たら小さなことですが、「できた!」という達成感を積み重ねていくことが、子どもにとって、とても大切なことです。小さな「達成感」「成功体験」が、子どもが成長していく上で、色々なことに挑戦するときの自信と頑張りに繋がります。これまで大人がしてあげていたことを、少しずつ子どもにバトンタッチをして、頑張っでチャレンジしているときには、口は出さずに、そっで見守り、出来た時には「できたね!」と沢山褒めてあげましょう。



- ・歯ブラシ、コップには必ず名前の記入をお願いします。
- ・子どもは大人よりも爪の伸びが早いです。ご家庭で一週間に一度は爪切りをお願いします。